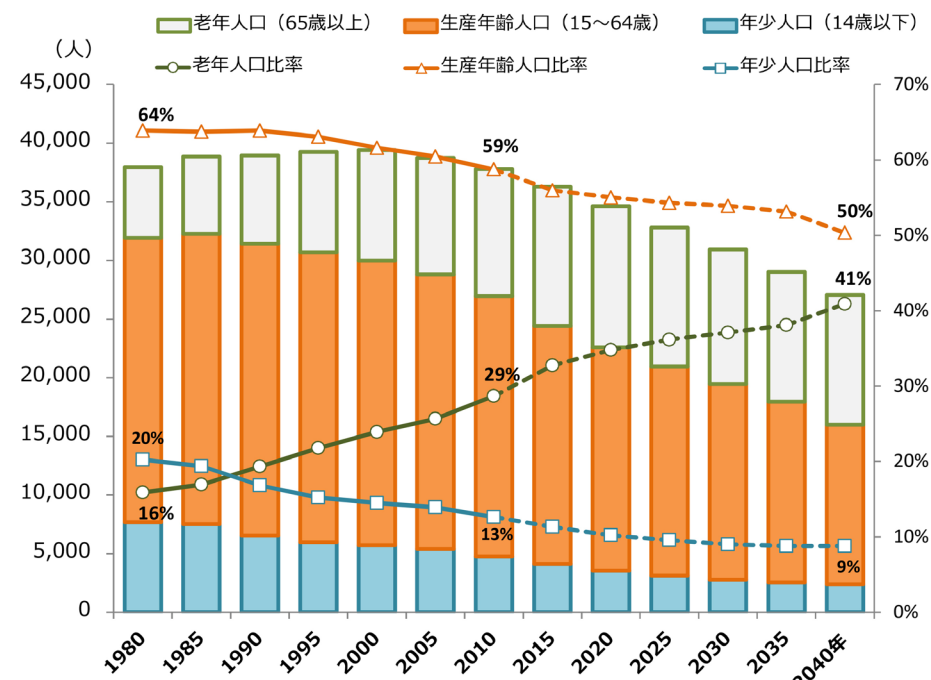




# 少 子化の進行

本市の年少人口（14歳以下）は、1980年代において横ばいとなった時期がありましたが、長期的には減少傾向が続き、1990（平成2）年には老年人口を下回りました。また、2010（平成22）年における年少人口の割合は13%ですが、2040年には9%まで減少すると推計されます。

【瀬戸内市の年齢3区分別人口の推移】



資料：2010（平成22）年までは総務省統計局「国勢調査」、2015（平成27）年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

安心して笑顔で子育てができるまちへ



みんなで子育て 地域で子育て

# 子 育て支援の推進

## 市の子育て支援施策



少子化が進行する中、子育て支援を進めるには、市民一人一人が少子化や子育てについて関心を持ち、子育て家庭、地域、市が連携・協働して取り組んでいくことが重要です。

- 子ども包括支援センターの設置
  - ・妊娠期から子育て期までの、切れ目のない支援を実施
  - ・さまざまな不安・疑問・相談に対応するため、保健師と臨床心理士を配置
- 中学生までの子ども医療費の無料化
- きめ細やかな学習指導を行うための体制整備
  - ・全ての小学校で35人以下の学級編制とするための講師を配置
- 働きながらでも安心して預けられる保育環境の整備
  - ・職場への復帰などに向け、0歳児、1歳児の受け入れを確保するため、保育施設の拡充・整備を実施予定
  - ・病児・病後児保育、一時保育の実施
- 外国語教育・活動の充実（各学校・園へALTを配置）
  - ・授業時間以外でも休憩時間などにALT（外国語指導助手）と触れ合える体制を整備（公立保育園については、平成29年度から実施予定）
- 支援が必要な子どもへの適切な支援
  - ・一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を行うため、臨床心理士による保育園・幼稚園の巡回指導を実施
  - ・各学校・園の状況に応じて、保育園への保育士の追加配置や、幼・小・中学校に支援員を配置
- 教育施設の整備充実
  - ・全ての幼・小・中学校に高効率空調機およびLED照明を順次設置（平成29～31年）

今や全国的な課題となっている少子化の問題。国や自治体による子どもを安心して出産し、健やかに育つことができる環境整備のための施策や事業主による雇用環境整備の取り組みが進められていますが、少子化に歯止めがかからないのが現状です。

また、核家族の増加や地域ネットワークの希薄化など、育児や子育てを取り巻く環境は、一段と厳しさを増しています。

安心して笑顔で子育てができるように、瀬戸内市の子育て支援や取り組みを紹介しながら、これからの子育てについて考えてみたいと思います。





## 子育てサロン

**子育てサロンとは**

子育てサロンは、引越してきたばかりで知り合いがない、子育てに役立つ情報が欲しい、ちょっとした支え合いのできる仲間をつくりたい、そんな子育て中のお母さんが集まる憩いの場です。

子育てサロンでは、地域の身近な施設を利用し、ボランティアの子育てサポーターと子育て中のお母さんが、一緒に楽しく活動しています。

また、サロンごとにティータイムやおもちゃを使った遊びなどがあり、親子でゆったり過ごすことができます。子どもはもちろん、お母さん同士の交流・情報交換の場にもなっています。

### ▽市内の子育てサロン

| 名称           | 主な活動拠点      | 主な開催日     | 連絡先                      |
|--------------|-------------|-----------|--------------------------|
| 子育てサロン「ゆめつ子」 | ゆめトピア長船     | 毎月第3火曜日   | 山崎清子さん 0869-26-6059      |
| チビッコサロン      | 福岡ふれあいプラザ   | 毎月第3木曜日   | 藤本好子さん 090-3374-8188     |
| ママカフェ 野いちご   | 福田子育て支援センター | 毎月1回(金曜日) | 福田子育て支援センター 0869-24-0020 |



菅沼朋奈さん 蒼太ちゃん (0歳)  
 栄佳史子さん 結彩ちゃん (0歳)  
 山谷千紗さん 咲奈ちゃん (0歳)

## Interview

**山谷さん** ボランティアの人たちがサポーターしてくれるので、家にいるときよりゆっくりお話ができます。また、近い月齢の子どもを持つ友達ができ、子育ての悩みを相談しやすいのがいいですね。

**栄さん** 月ごとでサロンの内容が違っているので、それを楽しみに来たいです。サロン以外には、保育園の一時保育を利用していますが、保育料がもう少し安くなればいいなと思います。

**菅沼さん** サロンで知り合った人とお話して、育児の悩みやストレスを発散しています。市内で、土日以外で遊べる場所がもっとあればいいなと思います。



## 赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問事業)

### 赤ちゃん訪問とは

赤ちゃんが健やかに育っていくことやお母さんが安心して子育てができることを目的として、誕生したすべての赤ちゃんの家庭を保健師が訪問しています。

訪問時には、産後のお母さんの体調も含め、赤ちゃんに關して気になることや心配なことについて相談に乗っています。また、その際に体重測定や市の母子保健サービスの紹介、予防接種の案内なども行っています。



## 愛育委員の活動

### Interview



愛育委員による訪問

愛育委員は、赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、赤ちゃんの誕生をお祝いする手紙とプレゼントを渡しています。

乳幼児健診の案内を届ける際は、「何か心配なことがあったら気軽に相談してくださいね」と声掛けを行っています。

また、乳幼児健診のお手伝いや親子クラブ、子育てサロンにも協力しています。

子育て中は大変ですが、子どもの笑顔を活力にして、子育てを楽しんでほしいと思います。



愛育委員会会長 奥田悦代さん

## 栄養委員の活動

### 離乳食講習会



### Interview



栄養委員会会長 松本玲子さん

栄養委員は、健康づくりにおける食の重要性や、地産地消の大切さなどについて理解を深め、食に関する知識を伝え広めています。

食育活動では、小・中学校で行う調理実習への協力のほか、親子料理教室で朝食の重要性などの助言を行っています。

また、離乳食講習会や乳幼児健診などで、市の特産物を使用した試食提供を行っています。

子育て中は、子どもたちにできるだけ手作りで、野菜たっぷりの料理を作ってほしいと思います。



# 親子クラブ

## 親子クラブとは

親子クラブは、親子の交流を通して、地域で子育てをしているみんなが手をつなぎ、より良い子育てを目指している会です。

地域の未就園の子どもとその保護者が、季節の行事などを楽しみ、親子同士の交流を通して、親子も仲間をつくることができます。

また、各クラブの仲間同士の交流だけでなく、地域の人との交流も行っています。保育園児や幼稚園児と交流したり、小学校の運動会に参加したりします。

その他にも年1回、4クラブ合同の交流会を行っています。交流会では、親子レクリエーションやふれあい遊びなどを楽しみながら、他のクラブの親子と交流しています。

親子クラブは、保護者同士が子育てをする上での喜びや悩みを共有し、子どもと一緒に成長することができる場となっています。

それぞれのクラブでは、新しい会員を募集しています。市内在住の未就園の子どもとその保護者であれば、いつでも入会できます。あなたも親子クラブで仲間づくりをしませんか。

【親子クラブの問い合わせ・申込先】  
 ・各子育て支援センター（右ページ参照）  
 ・健康づくり推進課 ☎ 0869-24-8033  
 ※長船町おやこクラブの申込書と受付BOXは、ゆめトピア長船、長船町公民館にあります。



# 子育て支援センター

## 子育て支援センターとは

子育て支援センターは、それぞれの地域で子育てで家庭や地域の皆さんが気軽に集い、子育て親子が情報交換や交流できる場を提供しています。また、親子で一緒に遊べる遊びなどを通じて仲間づくりを支援したり、子育ての不安などを解消するため、子育てに関する知識や経験豊かな保育士による相談・情報提供などを行っています。

子育て支援センターで実施する内容は各支援センターで異なりますので、以下の連絡先に直接お問い合わせください。また、子育てに関する相談（来所・電話・訪問）も受けています。不安やちょっとした困りごとでもお気軽にご相談ください。

### ▽市内の子育て支援センター

| 名称                | 連絡先☎         |
|-------------------|--------------|
| 牛窓ルンビニ子育て支援センター   | 0869-34-2309 |
| あいあい保育園子育て支援センター  | 0869-34-9330 |
| 長船ちとせ保育園子育て支援センター | 0869-26-3988 |
| 邑久子育て支援センター       | 0869-22-0222 |
| 福田子育て支援センター       | 0869-24-0020 |



## Interview

**山崎さん** 2人目が生まれ、再度支援センターを利用するようになりました。センターは、家の中よりも広くて遊び相手もおもちゃもいっぱいあるので、子どもがのびのび遊べるのがいいですね。センターでは、上の子がぐずることもないので、私もゆっくり過ごせます。

**井野戸さん** 3年ぐらい前からセンターを利用しています。幼稚園などに入る前に子どもの友達ができるし、他のお母さんとも仲良くなれるので、いろんなことを相談できるのがいいですね。瀬戸内市は、外で遊ぶところが少ないので、もっと増えたらいいなと思います。



井野戸ゆかさん 山崎みどりさん  
 琉色ちゃん 志乃ちゃん（0歳）  
 （3歳） 真子ちゃん（1歳）

## 長船町おやこクラブ

|        |  |
|--------|--|
| 活動場所   | ゆめトピア長船（長船町土師）など   |
| 現会員数   | 大人30人、子ども40人（平成28年12月現在）   |
| 会員から一言 | 人数の多い明るく元気なクラブです。季節の行事やいろんな体験をしながら楽しく活動しています。一緒にすてきな思い出をつくりませんか。 |



七夕会

## 牛窓親子クラブ

|        |   |
|--------|---|
| 活動場所   | 牛窓ルンビニ子育て支援センター（牛窓町牛窓）、あいあい保育園子育て支援センター（牛窓町鹿忍）                    |
| 現会員数   | 大人20人、子ども24人（平成28年12月現在）  |
| 会員から一言 | 親子みんなで楽しく活動しています。牛窓地域だけでなく、市内在住であれば、どなたでも入会できます。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。 |



クリスマス会

各クラブでは、クッキングや七夕会、クリスマス会、いちご狩りなど、季節に合わせて楽しく活動しています

## 今城おやこクラブ

|        |   |
|--------|---|
| 活動場所   | 今城コミュニティセンター（邑久町向山）など                                 |
| 現会員数   | 大人12人、子ども12人（平成28年12月現在）                              |
| 会員から一言 | グループの規模は小さいですが、和気あいあいと親子で楽しく活動しています。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。 |



電車遠足

## おくげんきっこクラブ

|        |  |
|--------|--|
| 活動場所   | 邑久子育て支援センター（邑久町尾張）など                                       |
| 現会員数   | 大人22人、子ども22人（平成28年12月現在）                                   |
| 会員から一言 | たくさんのお友達と今しかできない活動を通して、すてきな思い出をつくりませんか。新しいお友達の入会をお待ちしています。 |



いちご狩り



Interview

# 子育て広場の充実が市の幸に



子育て広場推進協議会会長 上野洋子さん

子育て広場づくりプロジェクトは、子どもを安心して遊ばせられる場所、親同士が関われる場所、子育てについて相談できる場所が欲しいというお母さんたちの要望を取り上げて、「理想的な広場って何だろう？」というところから始めました。子どもたちが明るく遊んでいて、お母さんたちも息を抜くことができ、それを取り囲む市民がいる、その和やかな雰囲気を見たときに、これが幸せの象徴なのかなとすごく感じました。子育て広場の充実が、市の幸につながるということ、ここにすべてが集約されるのではないかと思います。



## 子育て広場づくりプロジェクト

**子育て広場づくりプロジェクトとは**

近年、子育てを取り巻く環境が大きく様変わりし、核家族の増加や、転入が多い地域では地域のつながりの希薄さから、子育てに不安を持つ人も少なくありません。そのため、市では市民の皆さんとの協働による子育て支援の充実が必要と考えました。

そこで、本年度から、子育て仲間が集う場所（ここでは「子育て広場」という）づくりに市民の皆さんが参加し、既存の公園などの活用を踏まえた子育て広場の構想について検討しています。

また、子育てのボランティアや親子クラブの役員などで構成された「瀬戸内市子育て広場推進協議会」を設置し、このプロジェクトを進めています。さらに、子育て中の人を含め、子育て広場の担い手を育成することにより、子育てに温かい地域づくりを目指しています。



邑久スポーツ公園で行われたプレーパーク

本プロジェクトでは、8月に邑久子育て支援センターで親子体験型ミニワークショップを実施、9月には岡山市、備前市の公園やプレーパークを視察しました。

10月には、瀬戸内市民図書館前の芝生で読み聞かせやカフェ、邑久スポーツ公園の冒険の森ではプレーパークを実施しました。

また、12月には地域づくりセミナーを開き、今後の子育て広場について、参加者で意見を出し合いました。

「子どもたちが遊んでいる姿が見える」ということは、とても大切なことではないでしょうか。遊んでいる子どもたちを見たり、子どもの声が聞こえたりすることは、地域が子どもに配慮し、危険なく過ごせているという証拠です。

安心して笑顔で子育てできるまちへ向け、みんなの力を合わせて、瀬戸内市らしい「子育て広場」をつくり育てていきませんか。

### 瀬戸内市らしい「子育て広場」とは？



- 自然の力を生かし、異年齢が交わって遊び、育つ場
- 子どもを中心に、多世代が集うにぎわいの場
- ボランティアや地域の人、さまざまな団体の活躍の場
- 今あるものや人、施設を生かして皆で作り上げる場

**遊ぶことで、人と人、人と地域がつながる場  
みんなで子どもを育て、自らも育つ場**

子育て中の概ね20～30代のお母さんにインタビューしました！

#### 「公園」について

- ・友達がたくさんいる公園で子どもを遊ばせたい。
- ・子どもが遊べる遊具のある公園が少ない。
- ・トイレや授乳・オムツ替えスペースが充実していれば使いやすい。

#### 「外遊び」について

- ・歩けるようになったら、外遊びに連れていきたい。
- ・外遊びのときには、他の親子もいてほしい。
- ・子どもは外遊びや水遊びが大好きなので、できるだけ外で遊ばせたい。



#### 地域や多世代などとの「交流」について

- ・ママ友が欲しいので、ママや子どもがいるところに行きたい。
- ・同じような年齢の子どもがいる場所は行きやすい。
- ・お年寄りとの交流があった方がいい。いろいろ教えてもらえる。

